

12 詩2 詩を味わう

1 次の詩を読んで問い合わせに答えなさい。

組	
番号	
氏名	

新緑の頃

高村光太郎

青葉若葉に野山のかげろう時、
ああ植物は清いと思う。

ア植物はもう一度少年となり少女となり
五月六月の日本列島は隅から隅まで

濡れて出たような緑のお祭。

たとえば楓の梢こずえをみても

うぶな、こまやかな仕掛けに満ちる。
小さな葉っぱは世にも丁寧に畳まれて
もつと小さな芽からぱらりと出る。
イそれがほどけて手をひらく。

晴れればかがやき、降ればにじみ、

人なつこく風にそよいで、

ああ植物は清いと思う。

そういうところへ昔ながらの燕つばめが飛び

夜は地虫の声さえひびく。

天然は実にふるい行状で

こうもあざやかな意匠ウツクくる。

※かげろう：透き通った炎のよ

うに地面からゆら

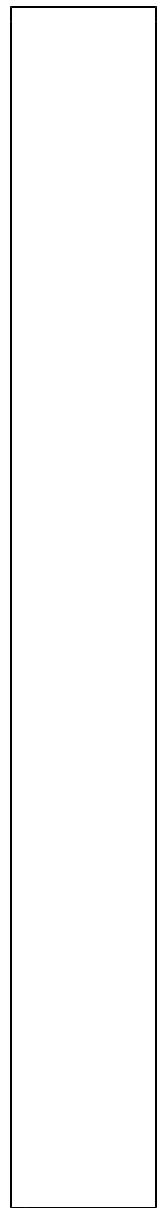
ゆら立ち上る

うぶな：純真な。

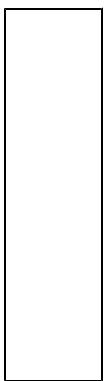
意匠：デザイン。

- ① この詩の種類を答えなさい。

② ア植物はもう一度少年となり少女となりとあります。これはどのような状態を表していますか。簡潔に説明しなさい。



③ イそれがほどけて手をひらく。とありますが、ここに用いられている表現の技法を答えなさい。



④ ウつくるとあります。この主語は何ですか。詩の中の言葉（一文節）で抜き出しなさい。

